

伊達

Date city Assembly

議会広報委員会
vol. 34 2014.5.22

市議会だより

議長・副議長あいさつ ①

議長・副議長選挙 ②

議会構成 ④

一般質問 ⑥

3月定例会審議議案 ⑦

5月臨時会審議議案・要望活動 ⑬

議会改革のうごき ⑭



5月1日一般選挙後の初議会

議長・副議長就任あいさつ



副議長

大橋良一

市民の皆様には、市政及び市議会に對しまして、ご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。私たちは、5月1日に招集されました臨時議会において議長、副議長に選出され、就任いたしました。

身に余る光栄であるとともに、改めて職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

さて、現在市政における最大の課題は、なんといっても復興の歩みをより一層加速させ、市民の不安を早期に払しょくするとともに、生活の安定を図っていくことにあると思っております。

このため、復興の鍵を握る放射能対策の推進や東北中央自動車道の整備をふまえた新たなまちづくりの展開など、復興の目標に掲げた、「安心と活力で潤うまち」へと再生をさせていかなければなりません。このような中、二元代表制の一翼を担う議会に課せられた使命は誠に大きいものと認識しているところでございます。

市議会としましては、市民の皆様への負託に応えるべく、議会基本条例の趣旨に基づき、政策立案能力の強化など改革に取り組みながら、本市の一日も早い復興を目指し、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりに全力で取り組んでまいりたいと考えています。

市民の皆様には今後とも市議会に對し、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。



議長

安藤喜昭

新議長に安藤喜昭氏

議長及び副議長選挙は、候補者の意思を明確に表してもらうとともに、開かれた議会を実現するため、各議員が表明内容を聞き、その上で投票したいとの意向から、4年前と同じく候補者の意思表明が行われました。

地方自治法では本会議中の議長選挙・副議長選挙において、立候補や決意表明ができないため、休憩し全員協議会とし、議場において決意表明が行われました。

議長選挙には安藤喜昭議員、佐藤清壽議員が決意表明し、演壇に立ち支持を訴えました。その後、本会議を再開し、無記名投票による選挙を実施した結果、有効投票数24票（無効1票）のうち、安藤喜昭議員が22票、佐藤清壽議員が2票で、安藤喜昭議員が議長に当選しました。

また、副議長選挙には大橋良一議員、近藤眞一議員が決意表明し、選挙を実施した結果、有効投票数24票（無効1票）のうち、大橋良一議員が22票、近藤眞一議員が2票で、大橋良一議員が副議長に当選しました。

議長選挙 決意表明

安藤 喜 昭 議員



に、命の息吹が感じられ、震災、原発事故に明け暮れた月日にもめげず、自然の生命力のたくましさを感じて取れる今日であります。

私どもは、市民の審判を受けるべく、市内全域を駆け巡りましたが、行く先々には、満開の桜がある所ではピンクの花いっぱい、桃畑が、そして純白の花に包まれたサクランボの花々が、私どもにひと時の安らぎを与えてくれました。花々に包まれた伊達の里は、まさに桃源郷でありました。このすばらしい伊達の里を、先人の方々が守り伝え、そして、私たち次世代へ継承する大きな役割を担っているのが、われわれ議会に課せられた大きな使命であると思います。

平成21年、私たちは、伊達市議会基本条例を定めました。平成12年4月、地方分権一括法が施行され、議会の果たすべき役割が大きく高まり、市民を代表する唯一の議事機関として、議員同志が自由闊達に議論し、積極的に政策立案、そして、提言するよう努力が求められていると思います。

今日まで、築いてきた議会報告会を通じての情報の公開、そして、説明責任を果たすことは、当然続けていくことは必要であり、さらに実りあるものにするため、知恵を出し合いながら、方策の検討を図っていきたいと思います。また、今後取り組まなければならない課題を設定しての政策討論会、議員相互の自由討議など、新たに取組みまなければと思っております。

今般、執行された第3回議会議員選挙において、欠員1人が発生し、県下でも例がない事柄に、われわれ市議会

皐月、五月を迎え、野山の木々、そして、庭先の木立も季節の流れとともに

改選後6会派が届出

改選により、議員の任期がスタートした5月1日、6つの会派から届出がありました。なお、いずれの会派にも属さない議員は4人という状況となっております。

会派一覧（届け出順）

平成26年5月1日

会派名	人員	代表者	所属議員
フォーラム伊達	3人	滝澤 福吉	吉田 一政 佐藤 直毅
「きょうめい」	3人	八巻 善一	高橋 一由 菅野 喜明
日本共産党 伊達市議団	2人	佐藤 清壽	近藤 眞一
志政クラブ	6人	清野 公治	大橋 良一 熊田 昭次 松本 善平 原田 建夫 小野 誠滋
創 志 会	4人	安藤 喜昭	大和田俊一郎 佐々木 彰 橋 典雄
チーム志民	3人	佐藤 実	菅野與志昭 菊地 邦夫

【会派に属さない議員】

丹治千代子 大條 一郎 中村 正明 半澤 隆

議会運営委員会

◎佐々木 彰 大條 一郎
○小野 誠 滋 高橋 一由
佐藤 清 壽 吉田 公 治
佐藤 実 政

としても重く受け止めなければならぬと思います。昨年9月定例会において、議員定数特別委員会での検討の結果、将来26人の定数を削減し、22人を目指す方向が示されましたが、削減と併せて、若い人たちが議会に参画できるような環境づくりに考えなくてはならないと思います。

今年、合併9年目、間もなく10年という節目を迎えるわけですが、市政の基本理念「人と人、地域と地域が結び合い、協働するまち」を基に、地域自治組織のあり方にも議会として、議員として積極的な説明で理解を促めることも必要だと思えます。合併特例期間後の持続可能な財政基盤づくりも大きな課題であります。東北中央自動車道の早期開通に合わせた地域振興策にも力を注がなければならぬと思えます。震災から3年が経過した現在、安心につながる放射能除染対策も喫緊の課題でありまして、広域連携での県北地方の中の伊達市のまちづくり、長年の懸案である水企業団からの受水料金の問題へ向け努力したいと思っております。そのほか、数々の諸課題に議員の皆さんとともに、共通の認識になるよう努め、共有化を図っていききたいと思えます。

現代にも通じる政治手腕で、米沢藩の窮地を立て直した名主、上杉鷹山の名言「なせば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」、人が何かを成し遂げようという意思をもって行動すれば、何事も達成に向かう。行動を起こさなければ、よい結果には結びつかない。常に挑戦する心、新しいことにチャレンジする精神をもって、「共に一歩前へ」を心に命じ、議会としての監視機能を果たしながら、伊達市民6万4千余の皆さんの生活の向上、市勢の進展に努め、先人が築き上げてきた「この郷土、伊達

市」を、よりよいものとし、次の世代へ継承していくことが、われわれに課せられた使命であると考え、議員各位の皆様とともに、頑張っていきたいと思っております。議員各位のご理解を賜りますようお願いし、決意表明いたします。

副議長選挙 決意表明



大橋良一 議員

ございます。また、喫緊の課題として、東日本大震災、それに伴う、福島第一原子力発電所の複合災害で、いまだに市民の生活が安定せず、放射能汚染による不安が払しょくできない状況であります。このことは、われわれの議員としての立場、行政の立場から、市民の方が安心して、安全に生活できるようにしなければならぬと思えます。この地に生まれて、この地に嫁いで、この地で子どもを育てられる環境づくりを課題として取り組むべきと思えます。

平成18年1月1日、新生伊達市がスタートされ、以来8年間経過して、本市の各事業の取り組みについては、予定通りの進捗をしていると理解しております。過日、議員改選期による選挙が行われ、少子高齢化対策、狭隘な生活道路の整備、教育環境の充実、除染の対応、商工農の産業育成、中山間地域の対策など、いろいろな市政運営への要望・意見をいただきました。特に教育環境の充実については、われわれ議会でも真摯に受け止め、検討していかなければならない。伊達市に21校の小中学校がありますが、そのうち児童数30人規模の学校が3分の1という状況で

4つほど、議会の役割として述べてさせていただきます。1点目は、政治的争点の集約機能、地域におけるさまざまな問題を政治的争点として、政治の場に公的に登場させること。2つ目は、討論による政策の決定。3つ目は、二元代表のもとで、首長との公的意思の作成。いわゆる首長と緊張関係を保ちつつ自治体の意思を決定する。4つ目は、執行機関に対する監視機能。首長・職員による執行の有効性をコントロールする。このことを基本として、議会の運営に議長の補佐役として、職務を遂行する覚悟ですので、議員の皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。決意の表明といたします。

一部事務組合

福島地方水道用水

供給企業団議会

高橋 一由
安藤 喜昭

伊達地方衛生処理

組合議会

近藤 眞一
菅野 喜明
佐藤 直毅
丹治 千代子
原田 建夫

伊達地方消防組合議会

橘 典雄
佐藤 清壽
菊地 邦夫
佐々木 彰
小野 誠滋
大條 一郎
半澤 隆

公立藤田病院組合議会

大和田 俊一郎
八巻 善一

広報委員

議員の改選とともに、議会広報委員も選出されました。今後、広報広聴特別委員会の報告を基に、市民に見てもらえる広報紙づくりに取り組みますので、よろしく申し上げます。

議会広報委員

(平成26年5月1日)
委員長 大條 一郎
副委員長 菅野 喜明
委員 佐藤 実
委員 佐々木 彰
委員 中村 正明
委員 佐藤 直毅

伊達市議会事務局〔市役所本庁舎3階〕

〒960-0692
福島県伊達市保原町字舟橋180番地
電話番号：024-575-1217
FAX番号：024-575-5339
メールアドレス
gikai@city.date.fukushima.jp

議 会 構 成

(平成26年5月1日現在)

任期満了による市議会議員選挙後の初議会が5月1日に招集され、議長・副議長選挙、各常任委員会の委員の選任、正副委員長の互選、一部事務組合議会議員の選挙が行われました。議会構成は次のとおりです。欠員1により議員総数25人。

議 長

副議長



安藤 喜昭
(61)

梁川町二野袋字志津1
【無所属】



大橋 良一
(66)

霊山町大石字院主1
【無所属】



◎委員長 ○副委員長 委員は議席順に紹介

総務生活 常任委員会 9人



◎佐藤 実
(53)

保原町字三丁目8
【民主党】



○原田 建夫
(66)

梁川町新田字東前51
【無所属】



菅野 喜明
(37)

霊山町上小国字栗ノ口13
【無所属】



佐藤 直毅
(52)

保原町字西町66-11
【無所属】



大和田 俊一郎
(60)

梁川町五十沢字宮下16
【無所属】



半澤 隆
(67)

月舘町月舘字町37-2
【無所属】



吉田 一政
(74)

中志和田39
【無所属】



大橋 良一
(66)

霊山町大石字院主1
【無所属】



安藤 喜昭
(61)

梁川町二野袋字志津1
【無所属】

予算決算 常任委員会 議員全員 (25人)



◎清野 公治
(64)

保原町柱田字武士沢25
【無所属】



○八巻 善一
(72)

梁川町山舟生字鹿野新田55
【無所属】

定数26人(欠員1)

文教福祉 常任委員会 8人



◎松本
善平
(73)

梁川町字北町頭6-1
[無所属]



○菊地
邦夫
(70)

保原町字西町54-4
[無所属]



近藤
眞一
(49)

保原町字四丁目32-2
[日本共産党]



橘
典雄
(64)

梁川町新田字町通53
[無所属]



丹治
千代子
(67)

靈山町山戸田字土関12
[社会民主党]



小野
誠滋
(70)

梁川町東大枝字北町2
[無所属]



大條
一郎
(56)

保原町字栄町100-5
[公明党]



八巻
善一
(72)

梁川町山舟生字鹿野新田55
[無所属]

産業建設 常任委員会 8人



◎熊田
昭次
(63)

保原町金原田字二田ノ入30-2
[無所属]



○中村
正明
(60)

梁川町字田町5-1
[無所属]



佐藤
清壽
(66)

靈山町掛田字古川16-6
[日本共産党]



佐々木
彰
(49)

靈山町掛田字西裏52-2
[無所属]



菅野
與志昭
(56)

箱崎字沼頭2
[無所属]



高橋
一由
(62)

伏黒字南屋敷5-3
[無所属]



清野
公治
(64)

保原町柱田字武士沢25
[無所属]



滝澤
福吉
(69)

保原町字実町55
[無所属]

定数9人(欠員1)

3月定例会

一般質問では13人の議員が登壇し、市政全般について論戦を展開しました。
(掲載は12人)

問 一般質問 答

一般質問議員と質問項目

■3月11日登壇

■大橋 良一 議員

- 1.雪害(豪雪)による対策について
- 2.全国植樹祭の招致活動について
- 3.低線量地域の除染について

■佐藤 実 議員

- 1.全国植樹祭への取り組みについて
- 2.市役所の機能集約について
- 3.歩行者の安全対策について

■菅野 富夫 議員

- 1.雪害対策について
- 2.除染について

■大和田俊一郎 議員

- 1.伊達市の除雪対策について

■中村 正明 議員

- 1.市長選挙直前に変心したCエリア除染について
- 2.「だて市政だより」市長日誌内容のあり方について
- 3.市長ウィーン出張時の大雪と危機管理について

■3月12日登壇

■佐々木 彰 議員

- 1.伊達市の風評被害払しょくのための広報宣伝活動について

■丹治千代子 議員

- 1.「特定秘密保護法」に対する市長の見解について
- 2.市の除染計画について
- 3.市長のマニフェストの第4の柱、安心して子育てができ、優しい気持ちと生きる力を育むまちづくりについて
- 4.「健康手帳(仮称)」の交付について

■八巻 善一 議員

- 1.放射能物質対策について
- 2.2014年2月豪雪対策について
- 3.梁川スクールコミュニティゾーン整備事業について
- 4.街路灯、防犯灯のLED化について

■佐々木英章 議員

- 1.Cエリアの除染取り組みについて
- 2.子育て支援について
- 3.高齢者介護体制の確立について

■菊地 邦夫 議員

- 1.伊達市の観光について
- 2.市民ホールについて
- 3.市庁舎について
- 4.市遊休地の有効活用について

■3月13日登壇

■菅野 喜明 議員

- 1.第69回全国植樹祭の誘致について
- 2.旧特定避難勧奨地点地区への施策について
- 3.公民館から交流館への移行について
- 4.東北中央道の整備と道の駅の進捗について

■半澤 隆 議員

- 1.大雪被害に対する早急な状況把握と対応について
- 2.固定資産税の減免について
- 3.投票率向上に向けての取り組みについて

■松本 善平 議員

- 1.梁川町川北市街地の下水道の今後の進め方について
- 2.希望の森公園里見庵周辺の道路整備について

■雪害対策について



大橋 良一 議員

Q 雪害対策の危機管理体制の強化策を伺います。

A 市の地域防災計画に雪害も追記し、関連部署と連携の上検証して、仮称ですが市大雪対応マニュアルの策定を進めます。

Q 降雪時の地域の除雪委託業者数と除雪要請はどうですか。

A 伊達4社、梁川10社、保原6社、霊山7社、月館6社の計33社です。積雪量により、適宜除雪要請をしています。

Q 各地域に積雪量観測員を配置されているか伺います。

A 現在、積雪を把握する手法は確立しておりませんが、今後、観測員などを中山間地域などを中心に配置して、積雪量に応じた適切な除雪、各種対策を実施できるマニュアルを作成し対応します。

Q 市道の除雪計画路線数を伺います。

A 市全域で545路線、約575kmです。

Q 大雪による農作物・農業施設被害件数と再生補助支援を伺います。

A 全体で、751件、被害総額は1億9600万円に上り、緊急に農業復旧と再生のため、追加補正予算10億5100万円を提出いたします。

Q 第69回全国植樹祭が、本市開催招致活動について伺います。

A 県当局に霊山で行うことが、本県全体にとっても適切な位置と考えて、具体的な要望の準備を進めています。

■全国植樹祭の開催を伊達市で



佐藤 実 議員

Q 天皇后両陛下をお迎えして開かれる全国植樹祭が、平成30年に開催が固まりました。合併後の一大イベントとして、本市霊山高原での開催に向けて積極的に取り組むべきだと考えます

が、市長の考えを伺います。

A 開催は非常に重要だと思えます。特に霊山高原で行っていたことは、浜通り、中通りの人たちにとっても適切な位置ではないかと考えます。

Q 放射能災害という課題に直面している市民にとって心をついにし、一体感を醸成するイベントになると考えますが、今後の取り組みについて伺います。

A 霊山での開催について、近隣市町にもご理解をいた

だき、賛同者を増やしていきたい。

■市役所機能集約

Q 本庁舎と分庁舎に分散されている機能集約のため、本庁に集約、整備について伺います。

A 災害対応が優先ということで、検討には至っていませんでしたが、今後の財政状況などを踏まえながら、整備構想の策定は必要と考えるため、新市建設計画、合併特例債の活用などの事業の見直し時期に、計画事業として位置づけていきたい。

3月定例会

平成26年第2回伊達市議会定例会は3月5日に招集され、3月25日までの21日間の会期で開催されました。市長から提案された案件は、専決処分承認1件、条例の制定2件、条例の改正3件、条例の廃止1件、補正予算7件、当初予算22件、その他3件の計39件でした。さらに、人事案件4件、平成25年度補正予算1件、その他2件が追加提案されました。これらの案件は一部を除き所管の委員会に付託して審査の後、本会議で採決した結果、原案のとおり可決、承認しました。

また、議員提出による条例の改正2件、規則の改正1件についても原案のとおり可決しました。

■条例

●伊達市まちなかサロン条例の制定

市民相互の交流と憩いの場及び歩いて暮らせるまちづくりの場を提供し、まちなかの賑わい創出などに寄与するため、伊達市まちなかサロンの設置に關し、必要な事項を定めるため新たに条例を制定しました。

●伊達市生活用水供給条例の制定

水道未普及地域における住民福祉の増進を図るため、生活用水の供給に關し、必要な事項を定めるため新たに条例を制定しました。

●伊達市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

社会教育指導員の廃止及び子ども・子育て会議委員の追加に伴い、所要の改正を行いました。

●伊達市伊達福祉センター条例の全部改正

■雪害対策と除染を問う



菅野 富夫 議員

か。

Q 要援護者の救急搬送が4人で、病院にかかる必要のある方5軒の除雪をしました。市道の除雪は、15日の朝5時から始まるよう33の業者に依頼しました。市のホームページに緊急連絡先を掲載していますが、連絡先の徹底は今後検討します。

Q 農業被害に対する救済策は、どのようなになっているのですか。

A 施設の再建・修繕にかかる補助や農業生産再開のため

めの施設の撤去補助をします。
Q Cエリアのフォロアアップ除染とは、どのようにするのですか。

A 市民の安全イコール安心ではないという思いに配慮しながら、安心を確保するため、丁寧をやっていききたいと思っております。

Q 里山除染とは、どのように進めるのですか。

A 2次災害のおそれがない除染手法により進めていきます。農道利用頻度、線量の高い地域を検討し、実施したいと考えています。

■市長選挙直前に変心したCエリア除染



中村 正明 議員

判断には踏み込んでいただけませんでした。この度、いかなる理由で政策転換し、Cエリア除染をすることに至ったのか伺います。

A 伊達市の市政を預かる身として、市民の気持ちを尊重し、民心の安定を図るため、フォロアアップ除染を決定しました。

Q 議会に対し今もって説明、報告もなく「市民の声を無視できない」という理由で、Cエリア除染の転換は、市長選を意識してのものではないか伺います。

A ある日突然変わったわけではなく、議会からの指摘は承知しており、市民と直接話をする機会があり、何らかの手を打つべきと感じたわけです。

Q 市長選での公約であります「Cエリアの除染」は、どのように実行していくか伺います。

A 調査票に基づき、どうしたら安心していただけるのか。住人の方と相談させていただき、ご意見を伺いながら、個別具体的にどうしたらいいのかということに取り組んでいきます。また、中村議員のご意見も参考に、これから進めてまいりたいと思います。

Q Cエリア地域の除染を市民ニーズに伴い、A・Bエリア同様に実施して欲しい旨を、市民を代表する機関の責務として、議会から一度にわたり要望してまいりました。しかし、実施の

伊達市伊達福祉センター及び伊達市伊達老人福祉センターの改修に伴い、伊達市伊達福祉センター条例の全部の改正を行いました。

●伊達市ひとり親等家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
児童扶養手当施行令の改正に伴い、ひとり親等家庭医療費の受給資格者の範囲を拡大するため、所要の改正を行いました。

●伊達市社会教育指導員条例を廃止する条例
生涯学習の推進を図るため、新たに生涯学習指導員を配置することに伴い、社会教育指導員の配置を定めた伊達市社会教育指導員条例を廃止しました。

■補正予算

●平成25年度伊達市一般会計補正予算(第6号)

63億1737万8千円を減額し、予算総額を405億9446万1千円としました。

歳入については、市たばこ税など市税3000万円、地方交付税1022万5千円、諸収入2722万1千円などを増額し、民生費国負担金などの国庫支出金1億1062万8千円、除染対策事業交付金などの県支出金55億4194万円を減額しました。

歳出については、国の平成25年度補正予算により、1・2級市道のストック総点検を実施する道路維持管理事業について2300万円、後年度財政負担軽減のための借入れを繰上償還する公債費5490万5千円を増額し、放射能対策事業については、年間所要額の見込みが確定したため54億5731万4千円を減額し、さらにその他事業費の確定に伴う予算整理などを行いました。

●国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

312万9千円減額し、予算総額を79億3727万6千円としました。

●後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

162万6千円追加し、予算総額を6億4286万4千円としました。

■風評被害払しょくのための広報宣伝活動



佐々木 彰 議員

うな形で風評被害対策に取り組んできましたか。

A フェイスブックやツイッターなど、ITを活用した情報の拡散、トップセールスをはじめとしたPR活動、首都圏や友好自治体、大手企業における伊達マルシェの開催など新たな道を開拓しながら、野菜、果物だけでなく、地場産業の伊達ブランド化の確立に向かって、風評被害対策に取り組んできました。

体との交流が、風評被害払しょくには有効と思いますが、どのような取り組みを行っていますか。

A 災害協定締結先とは、災害だけでなく、日ごろの交流を行うべきと考えています。北海道松前町や滋賀県草津市を中心に物産の交流、中学生など人の交流、その他に農業体験や米の検査会場視察などを実施し、農産物の安全性を現場で確認できる取り組みも行っています。

Q 大規模災害協定締結先など伊達市と関係のある自治

■「健康手帳」(仮称)の交付について



丹治千代子 議員

者と同じように「健康手帳」を交付して、生涯にわたる健康管理と医療給付を行うべきと考えます。したがって市は、県や国に対して、「健康手帳」の交付を求める考えがあるか伺います。

A 「被爆者健康手帳」は、原子爆弾被爆者に対する被爆者援護法に基づいて、交付される手帳となっており、福島原発事故による被爆者については、適用されないことになっております。国に対しての要望については、現在のところは考えていません。

Q 原爆の被爆と原発事故の被爆は違うと言われたように思いましたが、私は放射能被爆については、同じと考えております。市独自で市民に交付する考えがあるのか伺います。

A 福島原発の事故による被爆者による被爆者援護法は適用されないというのが国の考えです。市独自の健康手帳交付については、全県民に対し、県民健康管理ファイルの配布が予定されていることから、このファイルを活用していただければと考えております。

●介護保険特別会計補正予算(第2号)

3億9686万円減額し、予算総額を61億904万8千円としました。

●公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)

1100万9千円減額し、予算総額を11億3312万9千円としました。

●月館宅地造成事業特別会計補正予算(第2号)

1432万5千円減額し、予算総額を1245万9千円としました。

●水道事業会計補正予算(第3号)

収益的支出の補正総額は1225万6千円追加、資本的支出の補正総額は2177万7千円減額で、補正後の収益的支出を16億2098万8千円、資本的支出を12億5341万8千円としました。

■当初予算

●平成26年度伊達市一般会計予算ほか特別会計、及び企業会計予算

一般会計予算の総額は、3337億8300万円、前年度当初予算と比較して97億800万円、22.3%の減となりました。放射能対策事業については、41億1873万1千円と大規模な予算ではありませんが、昨年度との比較では、123億3233万9千円、75.0%の大幅な減となりました。それ以外の事業では、296億6426万9千円、昨年度との比較で、26億2433万9千円、9.7%の増となり、昨年度より予算規模は縮小したものの、平年と比べれば依然として大規模な編成となりました。平成26年度当初予算の概要については、「伊達市政だより5月号」をご覧ください。

■専決処分

●一般会計補正予算(第5号)

やながわ放課後児童クラブ建設事業費について、公共工事単価改正に対応する経費として1700万円を増額、関係する継続費についても3700万円

Q 東京電力福島第一原子力発電所の爆発事故は、国策で原発推進をしてきた国と、安全対策をおろそかにした東電の結果なので、国と東電は、全ての被爆者に対して、広島や長崎の被爆

■大雪対応の地域防災計画の見直しについて



八巻 善一 議員

情報収集体制、県、近隣市町、防災関係機関との連携、災害時要援護者対策、職員の配備計画、自助・互助・公助による役割分担など行動計画を定めていきます。

街路灯、防犯灯のLED化について

街路灯、防犯灯の設置状況について伺います。

Q 地域防災計画は、どのような方向で、見直しするの
か伺います。

A 大雪対応について、各関係部署、関係機関などを含めて検証し、除雪計画や情報伝達、

伊達市全域で6151基設置しています。

Q LED化のメリットについて伺います。

A 一般的には、電気料金が白熱電球の4分の1ぐらい

というように言われておりますが、省エネルギーになります。それから、発光ダイオードということから、光源が長寿命であります。また、比較的衝撃に強いということがあります。

Q 発光ダイオードLED化が進んでいる弘前方式のLED化について、伊達市ではどうですか。

A LED化による省エネルギー、長寿命化、維持管理経費削減ということで、弘前市の実例がありますが、今後、整備手法を含め調査研究していきたい。

■低料金で利用できる施設サービス



佐々木英章 議員

Q 高齢者の介護体制の確立は、地域ケアにおける大きな課題になっていきます。

国民年金程度で利用できる施設サービスの実現、協働の力を活用

し、地域でできる体制が必要ではないか伺います。

A 今後の政策として、これからいろいろ取り組むというか検討していくことなわけですけれども、国民年金の収入のみで、普通のサービスタつき高齢者住宅へ入居することは難しいので、一定の支援が必要になってくるだろうと思います。

たとえば公設民営とか、最初の設置費用を市が負担するなど何とかしたいと思っております。

伊達地区の認定こども園設置計画について

Q 伊達地区の認定こども園の開始時期などの計画について伺います。

A 平成25年度予算として、候補地周辺の平面の測量、不動産の鑑定に関する費用について計上し、議決をいただきました。現在、進めています。引き続き、作業を進めるべく、平成26年度予算として、用地取得のための費用、調査費などを計上しており、設置事業者の決定後、事業者と協議の上、早期の開園を目指していきたいと考えております。

を増額する専決処分について、承認しました。平成26年2月12日専決処分。

■その他

●伊達市道路線の廃止及び認定

県道福島保原線の先、市道神明町4号線までの道路新設改良事業に伴い、終点が変更となるため正地内2号線を廃止し、正地内3号線を新たに認定することにしました。

■議員発議

●伊達市議会基本条例の一部を改正する条例

●伊達市議会会議規則の一部を改正する規則

●伊達市議会基本条例の一部を改正する条例
詳細は14ページに掲載。

■追加議案

【人事】

●副市長の選任同意

鳴原貞男副市長が3月31日任期満了となることに伴い、後任副市長として引き続き鳴原貞男副市長を選任することに同意しました。

●教育委員会委員の任命同意

伊達市教育委員会委員のうち湯田健一委員及び阿部徳一郎委員が3月24日任期満了となることに伴い、後任として引き続き湯田健一委員を任命することに同意しました。また、新たに三品清重郎氏を任命することに同意しました。

●監査委員の選任同意

伊達市監査委員のうち識見を有する者のうちから選任した池田利一委員が3月24日任期満了となることに伴い、後任委員として大橋統氏を選任することに同意しました。

【補正予算】

●平成25年度伊達市一般会計補正予算(第7号)

10億6598万円追加し、予算総額を416億6

伊達市遊休地の有効活用について



菊地 邦夫 議員

所ほどございます。なお、平成25年度から、ファシリティマネジメント（施設の適切な維持管理）として、財産台帳の整備に取り組んでおります。

Q 市遊休地の有効活用については、どのように取り組んでいるかお尋ねします。

A 平成21年11月18日付けで、将来、市として利用予定のない市有財産を効果的に活用し、財源の確保と、管理経費の削減といったことを図るための基本的な考え方として、伊達市の未利用財産等の利活用方針というものを

Q 市の財産である遊休地は、どのくらいあるのかお尋ねします。

A 普通財産という形で、建物とか工作物などが乗っていない状況のものが、120カ

交流館設置条例に対する委員会付帯決議の対応について



菅野 喜明 議員

した対応とすること」という付帯決議をつけましたが、この付帯決議に対して、どのように対応しているのか伺います。

A 説明会などでさまざまな意見に対し、丁寧の一つ一つ説明や打ち合わせをしてご理解をいただきたいと考えております。

Q 相模地区の住民による集団和解申立において、特定避難勧奨地点の世帯に比べて70%の精神的慰謝料が認められました。以前、減免の請願を議会で採択しましたが、やっってもらえませんでした。この結果を受けて再考するか伺います。

を定めております。これに基づいて、梁川町希望ヶ丘団地22件、約1万4千㎡ほどを売却または貸付の方向で、未利用地の有効活用できないかと取り組みましたが、震災などがあり、一旦中座しております。今後は、ファシリティマネジメントの一環としまして、調査後の成果を基に、さらなる有効活用のため、また、現在、伊達市内に土地の動きも出てきたとのことですので、早急に有効活用できる土地につきましては、処分、売却、貸付という方向で利用できるように努めてまいりたいと考えております。

ます。

A 税金の免除は、財源の問題など総合的に判断して行いませんでした。固定資産税については、勧奨地点に指定されたところは、担税力が伴っていないと判断したので、一年間減免を行ったところですが。

Q 昨年12月から小国地区復興プラン提案委員会が発足し、平成26年度に復興プランを提案する予定ですが、それに対する対応を伺います。

A 小国地区の復興再生そして霊山地域なり伊達市に寄与するプランになれば、地域の方や市民とともに、その具現化の支援に努めます。

044万1千円としました。

歳入については、農業等施設復旧対策事業補助金として県支出金8億1653万4千円、財政調整基金繰入金2億4944万6千円を増額しました。

歳出については、2月の大雪に伴う農業等施設復旧対策事業として10億5149万6千円、伊達地方衛生処理組合に対する災害廃棄物処理事業追加負担金533万4千円、保原総合公園維持管理事業615万円、2月の大雪に対応したことによる職員人件費300万円を増額しました。

また、繰越明許費については、2月の大雪に伴い年度内完了が見込めない事業6事業について繰越明許費を追加設定するとともに、3事業について繰越明許費額の変更をしました。

【その他】

●工事請負契約の締結について

伊達市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、上保原屋内運動場建築工事請負契約及びやながわ児童クラブ新築建築主体工事請負契約を締結することを可決しました。

議会広報広聴特別委員会報告

1 これまでの活動経過

本委員会は、議会基本条例に基づき、開かれた議会を進めていくために欠くことのできない、適切で効果的な広報広聴機能の調査、研究を目的として、設置されました。

委員会としての年間計画を定め、前半の広報機能の調査研究について中間報告を前号で行いました。その後、中間報告で示したとおり議会報告会を中心に据えた広聴機能の調査研究について、先進的な取り組みをしている議会の視察を実施し、その事例の調査を行ってまいりました。

Q 12月議会で、生活産業常任委員会では、「伊達市交流館設置及び運営のあり方については、市民に十分な説明を行うとともにその意見などを十分に配慮して相互理解のもと進めることとし、本委員会での慎重意見を尊重

■固定資産税減免と投票率の向上について



半澤 隆 議員

A 特定避難勧奨地点に指定された地域のみ、平成23年度は減免しました。平成24年度は、評価替えの時期にあたり、国の指針に基づいて、原発事故による資産評価への影響を反映した見直しを行いました。平成24年度以降については行っていません。

Q 平成23年12月議会で、原子力災害による固定資産税の減免等に関する決議が採択されましたが、今日までの取り組みを伺います。

Q 今回、一月に行われた市長選挙の投票率は59・95%で、前回の65・30%と比較すると、5・35ポイント下回りました。この投票率低下の推移について、どのように分析しているのか伺います。

A 合併前から比較すると、平均して約10%低下しています。全国的に若者の政治的無関心や政治離れなどが、投票率の低下の要因になっていると思われるです。

Q 投票率の向上について伺います。

A 選挙に関心を持ってもらうために、若年層や未来の有権者への啓発として、市内の小中学生・高校生の児童・生徒会選挙の投票の際に記載台、投票箱などの貸し出しをしています。また、成人式に啓発資料の配布やケーブルテレビの活用などで投票率の向上を図りたいと思います。

■梁川町川北市街地の下水道の進め方について



松本 善平 議員

剰な負担になるのではないかと伺います。

A 道路の用地買収補償が完了いたしました。更地になってから工事着手となりますが、道路工事と重複を避けるために下水道工事の早期発注に努めています。仮設の排水、既設排水路の利用など可能な範囲で柔軟な対応を図って、合併浄化槽設置につきます。協力者に過剰な負担が生じないように努めます。

Q 本通り下水道の未設置のため、沿線用地協力者に都合などが出ております。下水道の接続が道路工事と重なり、後回しにしているのではないかと、また、合併浄化槽の設置に伴い個人の過

■希望の森公園の整備について

Q やながわ希望の森公園整備と市民のウォーキングコースの整備と農業生産活動の円滑化のため、早急なる整備を図る考えはないか伺います。

A 歩くことは健康の源であり、歩きたくなるような道づくりを目指しております。農業生産向上にも効果があると考えております。それらの整備の手法も含めて、今後、庁内の関係部署と協議の上、検討してまいりたいと考えております。

2 先進地視察調査事項

本委員会では、広聴機能についての先進地として、会津若松市議会を選定し、視察を通して調査を行いました。

会津若松市議会基本条例の前文には、「市民参加を礎として、市民との活発な意見交換を図り、そこで得られた意見を大切にしながら、議員同士が自由闊達な議論をたたかわせ、そのような中から論点や課題を明らかにしたり、意見を集約していくことが必要である。そして、市民本位の立場をもって、より適切に政策を決定するとともに、その執行を監視し、さらには、政策提言や政策立案を積極的に行っていくかなければならないのである。」と定義しています。

政策提言・政策立案までの過程を、より具体的に政策形成サイクルモデルという形で示し、意見交換会から政策討論会、そして政策づくり、執行状況監視、評価を一連の流れとして構築し、市民参加型の政策サイクルとして機能させています。

この政策サイクルの流れは議会広報広聴委員会が担っており、市民の意見を議会としての政策決定まで導いています。このような広聴機能のスタイルを、伊達市議会において取り入れることの可能性について、調査・協議を実施しました。

3 伊達市議会の広聴機能について

伊達市議会においても議会基本条例を制定し、市民の意見を聴取することを目的として、議会報告会を開催しています。しかし、議会報告会で得られた意見を政策提言、政策立案に有効に活用できていないのが現状です。

現在、議会運営委員会において、政策討論会の具体的な運用について議論され、議員同士の討論の場の充実が図られるようになることが期待されています。今後、議会報告会において市民との意見交換の場から得られた、市民のさまざまな意見の集約整理を

全国植樹祭メーン会場招致要望

平成30年に福島県で開催が予定されている第69回「全国植樹祭」の主会場として、伊達市霊山地区（霊山こどもの村周辺）を選定するよう、平成26年3月19日、吉田一政伊達市議会議長、齋藤和人副議長が県議会を訪問し、平出孝朗県議会議長、青木稔県議会副議長、伊達市・伊達郡選出県議会議員の佐藤金正議員、亀岡義尚議員、阿部裕美子議員に要望しました。

伊達市霊山地区は、豊かな緑に囲まれ、震災復興と放射能と向き合い力強く歩む福島県を象徴する地区として、全国植樹祭メーン会場に最適と訴えました。席上、吉田一政議長と齋藤和人副議長が、平出孝朗県議会議長に要望書を手渡しました。



平出県議会議長（右から2人目）に要望書を手渡す吉田一政議長と齋藤和人副議長

議決結果	賛成・反対	議員番号 議員名	議案等
可決	賛成24・反対1	1 菅野 喜明	議案第1号 専決処分の承認を求めることについて
可決	賛成24・反対1	2 佐藤 直毅	議案第15号 平成26年度伊達市一般会計予算
可決	賛成24・反対1	3 丹治千代子	議案第46号 工事請負契約について
不採択	賛成3・反対22	4 大和田俊一郎	請願第1号 「特定秘密保護法の廃止を求める意見書」の提出を求める請願書
		5 菊地 邦夫	
		6 佐々木 彰	
		7 大橋 良一	
		8 小野 誠滋	
		9 佐藤 実	
		10 大條 一郎	
		11 菅野與志昭	
		12 中村 正明	
		13 安藤 喜昭	
		14 欠番	
		15 熊田 昭次	
		16 清野 公治	
		17 佐々木英章	
		18 菅野 富夫	
		19 原田 建夫	
		20 半澤 隆	
		21 滝澤 福吉	
		22 八巻 善一	
		23 松本 善平	
		24 佐藤 勲	
		25 齋藤 和人	
		26 吉田 一政	

※これ以外の案件等は全会一致で可決承認されています。

3月定例会賛否一覽表

行い、政策討論会のテーマを選択し、議員間の討論を経て、政策立案に到達させるまでの過程を担う委員会の設置が不可欠となってきています。
議会として市民の負託に応えるために、広聴機能を持つ委員会の役割は重要であり、本委員会の常任委員会への移行について、検討が必要であるとの意見で全委員が一致しました。

2月臨時会

平成26年第1回臨時会は、2月10日に招集され、議員辞職（1人）に伴う欠員補充のため、議会運営委員の選任及び福島県地方水道用水供給企業団議会議員の選挙を行いました。

人事

●議会運営委員の選任

議会運営委員に、菅野喜明議員を選任しました。

●福島県地方水道用水供給企業団議会議員の選挙

福島県地方水道用水供給企業団議会議員は、滝澤福吉議員を選出しました。

5月臨時会

平成26年第3回臨時会は、5月1日に招集され、議会から選出される監査委員を選任しました。

人事

●監査委員の選任同意

議会から選出される監査委員に菅野與志昭議員を選任することに同意しました。

議員発議により

条例・規則を改正

○伊達市議会基本条例の一部を改正する
条例

平成23年に発生した東日本大震災並びに原発事故という未曾有の災害を踏まえ、大規模災害など不測の事態が発生した場合の、議会として講じるべき対策やとるべき行動を定めました。また、市の重要な計画、政策などについて、市民に開かれた討議を行うため、地方自治法第96条第2項の規定に基づき、議決事件として、伊達市総合計画基本構想及び伊達市健康都市基本構想を追加しました。

○伊達市議会会議規則の一部を改正する
規則

議会の会議における平等な発言機会の確保及び秩序の保持、並びに効果的で、効率的な会議運営のため、発言の通告制を徹底することを改正しました。

○伊達市委員会基本条例の一部を改正する
条例

平成25年第4回議会定例会における議員定数に関する特別委員会の調査報告をふまえ、常任委員会構成の変更を行うため改正しました。

■ 改正後の常任委員会構成は表の通り

常任委員会の名称	定数	所管事項
総務生活常任委員会	9人	市長直轄、総務部、財務部、市民生活部、会計課、監査委員、選挙管理委員会、他の委員会の所管に属しない事項
文教福祉常任委員会	8人	健康福祉部、教育委員会
産業建設常任委員会	9人	産業部、建設部、上下水道部、農業委員会
予算決算常任委員会	26人	予算及び決算に関する事項

6月定例議会の予定

○6月5日(木)午前10時に招集される予定です。伊達市議場（伊達市役所保原本庁 議会棟3階）
※なお、詳しい審議日程は、議会運営委員会で決まります。【電話 024-575-1217】

みなさんからの請願・陳情

3月定例会で受理したのは、請願2件でした。所管の委員会に付託して審査し、委員長が本会議に審査結果を報告、採決の結果、次のとおり決しました。

採決の結果	請願件名	請願者
不採択 (総務常任委員会)	「特定秘密保護法の廃止を求める意見書」の提出を求める請願書	〒960-06 伊達市保原町字市柳町 社会民主党伊達総支部 代表 清野辰夫
趣旨採択 (建設水道常任委員会)	梁川第5次拡張事業 山舟生字日面地区31戸への水道事業継続請願書	〒960-07 伊達市梁川町山舟生字西林新田 幕田 忠一 外96名

編集後記

去る4月27日、任期満了に伴う伊達市議選が執行され、即日開票の結果、定数26のうち新議員25人（現職21人、元職1人、新人3人）が決まりました。欠員1人となりましたことは残念でありましたが、今後の議会改革の課題として、取り組んでまいりたいと存じます。

このたびの、選挙戦を通して、市民の皆様から頂戴したご意見やご要望を踏まえて、議会として活発な議論を交わし、伊達市発展のため、市民の幸福のため働いてまいる決意であります。

今後とも伊達市議会に対しまして、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。(一)

議会広報委員会

委員長 佐藤 実
副委員長 佐々木 彰
委員 中村 正明
委員 大條 一郎
委員 佐藤 直毅
菅野 喜明